

洪水とコミュニティ間紛争の被害を受けたコミュニティに対する強靱な回復力および安定性の強化を通じた早期回復の支援



ファクトシート

日本補正予算：2021年3月～2022年3月

予算：279万9,381米ドル

主なパートナー：コンゴ民主共和国（DRC）政府、日本のNGO、市民社会組織（CSO）

目的

コンゴ民主共和国においては、未だ南キブの洪水や、カサイ地域のコミュニティ間紛争、そしてキンシャサにおける景気悪化と生活の崩壊に苛まれています。このような影響を受けた地区において、災害からの影響を軽減させ、紛争を防止し、コミュニティの能力開発を促進するための機構をさらに強化し、また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が弱者層の経済と生活に与えた影響に対応します。

プロジェクトの成果

成果1：ウヴィラのコミュニティにおいて災害からの復興と災害防止に関する能力を強化するとともに、永続的な解決策を特定し、実行に移すこと

成果2：ディンベレンゲ（中央カサイ州）とムエカ（カサイ州）周辺の社会的安定の回復のために、地元自治体とコミュニティ機構による紛争の予防、管理およびその変容に必要な不可欠なサービスの提供が強化されること

成果3：COVID-19の影響により苦しんでいる弱者層の生活の再建に重点を置いて、収入創出活動の実施、一時的な職の創出、および中小企業の事業サポートを行い、ウヴィラ、カサイおよびキンシャサの対象コミュニティにおける経済の復興を促進すること

SDGsへの貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標1、13および16に貢献します。



From
the People of Japan

開発課題

DRCは、貧困、自然災害、食料不足、基本的サービスが利用できないこと、武力紛争と社会的不安定、感染症、人口、および強制移動などに関連する問題に常に悩まされてきました。

これらに加えて、2020年にはCOVID-19の世界的大流行が人々の生活に重大な影響を与えました。さらに、第2波は第1波よりも深刻であるために、2021年におけるCOVID-19の悪影響はさらに甚大になるでしょう。

DRCで人道的支援を必要としている人々の数は、洪水、紛争、COVID-19、および通貨の下落とGDPの減少に関する経済の悪化により増加し、2,180万人が深刻な食料不足に陥るといって世界最大の食料危機に直面しています。